

# チャペル週報

だから、キリストと結ばれる人はだれでも、  
新しく創造された者なのです。  
古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。  
(コリントの信徒への手紙二 5:17)



2006.10.2 ~ 10.6 No.14  
関西学院宗教センター

---

## チャペル・スケジュール

---

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

---

- 10月2日(月) 神 堀野浩嗣 (M1)  
経 讃美歌と校歌に親しもう Part2 関田善之 (経済学部OB)
- 
- 10月3日(火) 院 田淵 結 (文学部宗教主事・宗教総主事)  
神 『詩編』シリーズ 嶺重 淑 (神学部専任講師)  
文 樋口 進 (宗教センター宗教主事)  
社 いのちを考える 川島恵美 (社会学部専任講師)  
法 栗林輝夫 (宗教主事)  
経 讃美歌と校歌に親しもう Part2 関田善之 (経済学部OB)  
商 新倉貴士 (商学部教授)  
総 エコハビタット関西学院 (フィリピン) 総合政策学部学生
- 
- 10月4日(水) 神 駒木 亮 (M1)  
社 いのちを考える 嶺重 淑 (神学部専任講師)  
法 Christian M.Hermansen (宣教師)  
経 讃美歌と校歌に親しもう Part2 最終日 関田善之 (経済学部OB)  
商 辻 学 (宗教主事)  
理 秋学期開講礼拝「関西学院大学で学ぶ」尾崎幸洋 (理工学部・学部長)  
総 今井一郎 (総合政策学部教授)
- 
- 10月5日(木) 神 久下 倫生 (M1)  
文 永田 雄次郎 (文学部教授)  
法 栗林輝夫 (宗教主事)  
経 舟木 譲 (宗教主事)  
商 岡田 太志 (商学部助教授)  
総 エコハビタット関西学院 (韓国サイクリング) 総合政策学部学生
- 
- 10月6日(金) 神 筒井 省行 (M1)  
文 English Chapel Thomas G.Rice (文学部英語講師)  
社 いのちを考える 打樋啓史 (宗教主事)  
経 舟木 譲 (宗教主事)  
商 柿原 正郎 (商学部専任講師)  
理 「年輪」松木真一 (宗教主事)
- 

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
10月6日(金) 寮生・下宿生のために 川村 麻里子(法4)  
総合政策学部早天祈祷会 毎水曜日 午前8:40~ 於 I号館312教室

---

# 「もったいない」

徳 田 眞 二

最近「もったいない」というタイトルの本を頂きました。懐かしい言葉だと感じると同時に、亡くなって38年も経っている祖父のいつも言っていた言葉を思い出しました。食事を食べ残しても「もったいない」、短くなった鉛筆を捨てても「もったいない」、気に入らない服を着るのをイヤがっても「もったいない」。物が豊かでない時代の中で、物的損失を惜しむ気持ちを孫に教えていたのですね。

「もったいない」という本の中に、

『レストランや家庭では、毎日たくさんの食べ物が捨てられています。コンビニエンス・ストアでも、1日に3～4回、販売期限が迫ったお弁当や食料品を廃棄処分をしています。1軒のお店が1日に13kgの食品廃棄物を出すとすれば、全国4万店で1日520トン。……世界では1日に1万7000人もの人々が、飢餓のために「命」を失っています。』

『地球の人口の約半数、28億人もの人々が、1日わずか2ドル以下のお金で暮らしています。かれらの生活には、携帯電話も自転車もテレビも冷蔵庫も、ほとんど縁がありません。いっぽう、日本では、買い替えなどで使用済みになる携帯電話が、1年間に約5000万台。ほかに年間650万台の自転車と378万台のテレビ、280万台の冷蔵庫が廃棄、回収されています。』

豊かさと貧困の対比の中で、改めて「もったいない」と思う気持ちやところを呼び起こす必要があるように思います。豊かさに流されず貴重な資源を有効に、有意義に使う意識や努力も求められているように思います。

更に、私達には目に見えないものに対しても、「もったいない」＝「感謝と敬愛」が必要だと思います。与えられた命に対し信仰としての神への感謝と畏れです。旧約聖書の創世記では、「主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。」他人の命も同じように創造されているのです。共にいのちを育むものとなりたいものです。

(吉岡記念館事務室課長)

## 吉岡美国展

- 「関西学院を育てた人 - 第2代院長吉岡美国」
  - ・写真でたどる吉岡美国の生涯
  - ・吉岡美国の遺品展示
- 期 間：9月26日(火)～10月5日(木)  
と ころ：吉岡記念館ラウンジ  
主 催：吉岡記念館

## 今の世界の「人権」を考えるフィルム・セッション(第2回)

- 民族の暴力と分断される日常  
ミルチョ・マンチェフスキー監督『Before The Rain』を観る
- と き：10月2日(月)15:15～18:20  
と ころ：吉岡記念館 会議室1(3階)  
主 催：関西学院大学人権教育研究室  
<吉岡記念館企画・一般公開・参加無料>

## 関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち36人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

- と き：10月7日(土)10時～16時(途中昼休憩有り)  
と ころ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
指導者：高橋明子、太宰まり  
主 催：吉岡記念館宗教センター

## KSCチャペルオルガニストによる“Autumn Concert”

この度神戸三田キャンパスのランバス記念礼拝堂にパイプオルガンが設置されました。これを記念してコンサートを開催いたします。お誘い合わせの上ご来場ください。

と き：10月10日(火)12:45～13:25  
と ころ：ランバス記念礼拝堂(神戸三田)

## 秋の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、秋の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いいたします。

- 期 間：10月10日(火)～13日(金)  
受付場所：吉岡記念館

### 聖書の植物(8) えにしだ

マメ科レタマ属の灌木で、高さ2～4mに伸び、葉は非常に小さくまばらで、針のようですが、それでも砂漠では結構気持ちのよい木陰を作ります。花は白色で、早春に開花し、長楕円形の鞘をつけます。ヘブライ語ではローテムと言ひ、旧約聖書に4回出ます(王上19:4,5,ヨブ30:4[新共同訳では『れだま』と訳されている]、詩120:4)。アラビア、シリアに一般に生じ、パレスチナの至る所の荒れ野の丘陵及び岩石地帯、特に死海のあたりに多く繁茂しています。

エリヤは、イゼベルの迫害から逃れてホレブに行く途中の荒れ野で、えにしだの木陰で休んだ、と言われていふ(王上19:4-5)。詩編120:4で「えにしだの炭火」と言われているのは、この木材が木炭を作るのに広く用いられていたことを示しています。この炭は固くて上質で、火持ちがよく、砂漠の民にとって大切な貿易商品となっていました。

えにしだの根は下剤、枝は解熱剤、傷の手当て、枝を粉にしたものを蜂蜜と混ぜて催吐剤、下剤や駆虫剤にしますが、果実は有毒であるので注意が必要です。